

番外寺子屋

阪神・淡路大震災から 22年

KOBEから続ける支援

熊本地震の「今」を語り合う



寺本わかば



丸山真実



鈴木隆太

2017年1月17日に阪神・淡路大震災から22年を迎えます。被災地 NGO 協働センターは、阪神・淡路大震災をきっかけに設立され、以来22年間被災地の支援を続けてまいりました。

2016年は、4月に熊本地震が発生し、さらには北海道・岩手の水害、鳥取での地震と多くの災害に見舞われた年となりました。当センターでは、特に4月に発生した熊本地震での支援活動を現在まで継続しています。

そこで、2017年1月17日に活動の原点である阪神・淡路大震災のことを思い出しつつ、現在進行形で支援を続けている被災地・熊本の「今」を語り合う会を開催致します。

スピーカーは、熊本で支援活動を担う当センター現地スタッフの3名です。阪神・淡路大震災を経験した鈴木隆太、屋久島から被災地に通う丸山真実、そして被災地である西原村出身の若手寺本わかばが、被災地・熊本の現状と支援活動の様子を語ります。是非ご参加ください。

日時：2017年1月17日 18:00～21:00(食事付き)

場所：被災地 NGO 協働センター(神戸市兵庫区中道通 2-1-10)

定員：20名(先着順)

話し手：鈴木隆太 / 丸山真実 / 寺本わかば

参加費：2500円(一般) / 1500円(学生)* 食事代込

申込：被災地 NGO 協働センター

TEL: 078-574-0701 FAX: 078-574-0702

E-mail: info@ngo-kyodo.org

* 食事の準備の都合があるので、要申し込み